

## 2 地域の国際競争力を高める成長戦略の推進について

(内閣官房、国土交通省、経済産業省、文部科学省)

### 【内容】

- (1) 「新成長戦略」の策定・実行に当たっては、地域の活力や国際競争力の向上が我が国全体の成長を支えるとの認識に立って、地域の強みや特色を最大限活かせるような戦略的な取組を進めること。
- (2) 航空宇宙や次世代自動車といった新規成長分野の産業振興、「知の拠点」づくりによる科学技術の振興、中部国際空港・名古屋港の機能強化といったアジア地域との直結性を高める基盤整備など、我が国の成長にも大きく貢献する本県の取組に対して、一層の支援を図ること。

### (背景)

- 一昨年秋の世界的な経済危機をきっかけに、世界が新たな経済社会のあり方を模索する中、我が国経済は未だ閉塞状況にある。また、医療や福祉、雇用など生活の安心を支えてきた仕組みにほころびがみられ、人口減少・少子高齢化や地球環境問題などの構造的な課題にも直面する中で、こうした諸課題に的確に対応し、我が国の将来を切り拓く成長戦略が求められている。
- 国は、昨年12月に、「環境・エネルギー」、「健康」、「アジア」、「観光・地域活性化」など6つの戦略分野を掲げた「新成長戦略（基本方針）」を閣議決定した。そして、この基本方針に沿って、本年6月を目途に「新成長戦略」の最終取りまとめを行うとともに、その実行を確保するための「成長戦略実行計画（工程表）」を策定することとしている。
- この「新成長戦略」の策定・実行に当たっては、地域の活力や国際競争力の向上が我が国全体の成長を支えるという観点に立って、各地域がそれぞれの強みや特色を最大限活かせるような仕組みの構築や支援の実施等に積極的に取り組むことが求められる。とりわけ、日本の成長のエンジンとなる地域への戦略的な重点投資が必要である。
- 本県は世界同時不況に見舞われる前まで、「日本一元気なあいち」と呼ばれ、モノづくり産業を中心に、我が国経済の牽引役を果たしてきた。本県では、その経済活力を取り戻すとともに、持続力や革新力のある産業構造の構築を目指し、航空宇宙産業や次世代自動車を始めとする新規成長分野の産業振興、「知の拠点」づくりを始めとする科学技術の振興などに取り組んでいる。
- また、成長著しいアジア地域の活力を呼び込むため、国際コンテナ戦略港湾に名乗りを上げている名古屋港の整備や、中部国際空港二本目滑走路の整備など、国際的なゲートウェイとなる基盤整備をはじめ、港湾・空港機能の強化と連携した広域幹線道路網の整備等も着実に進める必要がある。

( 参 考 )

我が国の成長にも大きく貢献する本県の主な取組

＜新規成長分野の産業振興・科学技術の振興＞

◎航空宇宙産業の振興

- ・材料開発から飛行試験・開発・生産に至るまで一貫して行われる航空宇宙産業の一大集積地をめざす。

◎次世代自動車産業の創出支援

- ・プラグインハイブリッド自動車、電気自動車など、次世代自動車に関連する技術開発支援や本格普及に向けた取組を推進。

◎「知の拠点」づくり

- ・次世代モノづくり技術の創造・発信の拠点として「知の拠点」を整備し、我が国の強みであるモノづくり産業のイノベーションを加速。など

＜成長戦略実行の礎となる陸海空の総合的なネットワークの整備＞

◎中部国際空港二本目滑走路の整備

- ・日本のモノづくり中枢を支える貨物ハブ空港化に不可欠な完全 24 時間化

◎名古屋港・三河港・衣浦港の整備

- ・アジアとともに成長する「国際産業ハブ港」を目指す名古屋港の国際コンテナ戦略港湾としての選定と重点的な整備等

◎広域幹線道路網の整備

- ・新東名、名古屋環状 2 号線、名豊道路、西知多道路など港湾・空港の強化と連携した道路ネットワークの整備など



次世代環境航空機  
(三菱航空機(株)提供)



「知の拠点」



名古屋港鍋田ふ頭



プラグインハイブリッド自動車  
(トヨタ自動車(株)提供)



中部国際空港



三河港神野西ふ頭